



平成 29 年 6 月 9 日

各 位

上場会社名 第一屋製パン株式会社
代表者 代表取締役社長 前川智範
(コード番号 2215 東証第1部)
問合せ先 取締役コーポレート本部長
小室 英夫
(TEL 042-344-7601)

中期経営方針 2017～2019 策定に関するお知らせ

当社を取り巻く環境は、パン市場の縮小寡占化の進行、働き方改革、原材料の高騰等々、大きく変化を遂げています。

また、消費者の食の安全・安心への意識が益々高まり、節約・低価格志向の継続や激しい企業間競争など、引き続き厳しい事業環境が続いています。

このような中、当社グループでは企業理念である『おいしさに まごころこめて』を起点とし、お客様に『感動』をお届けすることが出来る独自性のある企業となることを目指し、2017年から2019年にわたる3年間の『中期経営方針』を策定いたしました。

記

中期経営方針 2017～2019

オンリーワン企業への土台固め

I. 商品の土台固め

「独自技術でオンリーワンの商品群創出」

- ・ 独自技術の開発によるオンリーワン商品群確立
- ・ R&D（研究開発）機能・マーケティング機能の強化
- ・ 新たな事業の成長シナリオ確立と事業基盤拡大
- ・ 付加価値ブランドの立上げ

II. 流通の土台固め

「流通とオンリーワンメーカーとしての関係構築」

- ・ CVS業態との取組み強化
- ・ 柱となる流通顧客におけるメインベンダーとしての地位確立
- ・ 将来の柱となる流通・業務用顧客との取引拡大

III. 供給（サプライチェーン）の土台固め

「生産性と品質を両立させるオンリーワンの供給体制確立」

- ・ 汎用品ラインの省人化・効率化推進と、手作りラインの高品質商品の製造技術確立
- ・ SCM（供給コントロール）機能・体制の確立

- ・ コスト上昇抑制
- ・ 競争力のある品質レベルの実現
- ・ 中長期の供給体制再編のシナリオづくり

IV. 組織の土台固め

「オンリーワンの人財づくりと働く環境改善」

- ・ 労働安全を全てに優先
- ・ オンリーワンの人財づくり
- ・ D P S (Daiichipan Production System) の進化…オンリーワンの強みまで高める
- ・ ゆとりある働き方への環境整備
- ・ コーポレート機能の強化

以上を推進し、2019年度には、連結売上高 350 億円、営業利益率 3%を目指してまいります。

以 上